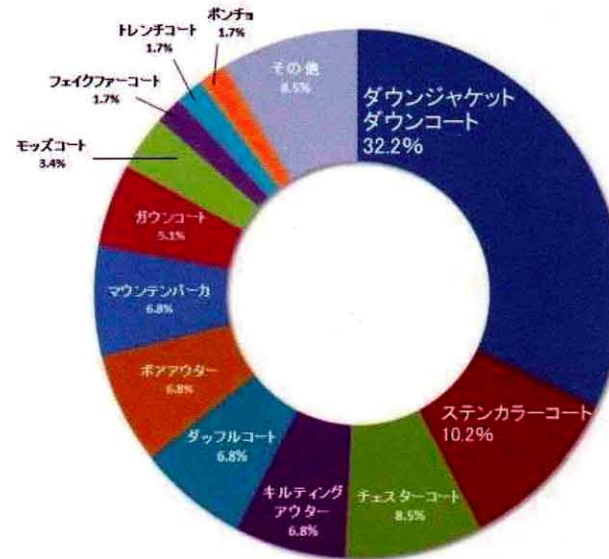




ファッション・ワンポイント: ♪クリスマス♪
 クリップボックス・トピックス: この冬欲しいアウター
 衣類のケア講座: 漂白剤の酸素系? 塩素系って何?
 衣生活の知恵: 汚れやシミは保管中に変質します

Clipbox Topics

この冬欲しいアウター アパレル業界人のアンケート結果



アパレル業界専門新聞『織研』が業界人に、「この冬注目しているアウターは？」として取ったアンケートでは、ダウンジャケットやコートなどのダウン製品が32.3%と圧倒的な1位でした。ダウン製品に人気集中したのは、「スタイリッシュな物やバリエーションが増えているから」「寒暖差が強いので、持ち歩きを重視した選定」「今までメンズ感を強く感じていたが、今年はカラー物が増えてかわいと感じたので取り入れてみたい」といった声がありました。

2位はステンカラーコート10.2%、3位はチェスターコート8.5%と、トラディショナルなコート類に人気がありました。これは「ベーシックで、何にでも合わせやすい」からということでした。

ファッション One Point アドバイス

♪クリスマス♪



もうすぐ待ちに待ったクリスマスですね。大切な人達に送るプレゼントの準備は整いましたか？

ステキなレストランでのディナーもいいものですが、家でのおんびり過ごすクリスマスも素敵です。

ツリーに飾るオーナメントも年々種類が豊富になって、どれを選ぼうか迷ってしまいますね。色も定番の赤や金・銀の他に、この冬の流行カラーであるパープルなども見かけます。

手の込んだお料理が作れなくても、普段と違うお皿やランチョンマットを使ったり、盛り付け方を変えるだけでも雰囲気が変わって見えるものです。飲み物は、スパークリングワインはいかがでしょうか？スパークリングワインのなかでも最も知名度が高いのはシャンパンでしょう。シャンパンと呼ばれるのは、フランスのシャンパーニュ地方で作られたスパークリングワインのみ。おしゃれで飲みやすいと女性の間でも人気が出てきたため、シャンパン以外にも様々なスパークリングワインが販売され始めています。

飲み物が決まったら、グラスを持つ手にもワンポイントを。きれいにネイルを塗るだけでも素敵ですが、ゴールドやシルバーのラインを引くだけで華やかさが増してクリスマス仕様に！ラインを引くときに、斜めに描くと指が細く長く見えます。全部の指に書くのが難しければ、一本だけでもエレガントです。特に薬指はあまり使わない指なのでネイルも剥げにくく、女性らしさも感じさせるので、ネイルアートを一本だけする際にはお勧めです。



衣類のケア講座

漂白剤の酸素系？ 塩素系って何？

洗剤でも白くなるし、漂白剤でも白くなる。洗剤と漂白剤はどう違うのでしょうか。

また漂白剤にも、塩素系（花王ハイター、ライオンニューブリーチなど）、酸素系（花王ワイドハイター、ライオンブライトWなど）、還元型（花王ハイドロハイターなど）と3種類の漂白剤が市販されています。家庭では、色柄物にも使える酸素系漂白剤が一般的です。



ところで、洗剤も漂白剤も汚れを落とすことは同じじゃないかと思っている人もおられることでしょう。しかし、それは違います。

*洗剤は汚れを落とす

洗剤は、界面活性剤という主成分が、繊維の表面についた汚れ成分を、包みこんで水中に引き離してきれいにします。

*漂白剤は色素を分解する

漂白剤は、化学反応によって、繊維の表面ばかりでなく、繊維の中に入り込んだ色素そのものを分解することによって白くします。ただし、塩素系でも酸素系でもファスナーやボタンに金属が使われている衣類には使用しないでください。

●とても強力な塩素系漂白剤

塩素系漂白剤は、次亜塩素酸ナトリウムという強アルカリ性の薬品を主成分としています。色素を分解する力が強く、染料まで脱色してしまうことがあるので色柄物には使えません。

また、タンパク質を溶かしてしまう性質がありますから、ウールやカシミアなどの毛繊維、シルクなどには絶対に使ってはいけません。タンパク質を溶かすということは、肌にもダメージを与えることになりますから、使用する時は、必ずゴム手袋を使用してください。

●色柄物にも使える酸素系漂白剤

酸素系漂白剤は、過酸化水素（液体で毛や絹にも使えます）や過炭酸ナトリウム（粉末で毛や絹には使えません）を主成分としています。染料まで分解する力はありませんから色柄物にも使えます。

●鉄分による黄変などを回復する還元型漂白剤

鉄分などの化学変化による変色を回復する特殊な漂白剤。あまり一般的ではありません。



汚れやしミは 保管中に変質します

クローゼットから衣類を取り出したら、見覚えのないしみがあったということはありませんか？

それは、目立たなかった汚れが変質したせいかもしれません。

例えば、皮膚の表面は、皮脂という透明な脂分で覆われています。衣類の襟周りや袖口は常に、皮脂が付着する状態にあります。この皮脂は、時間がたつと徐々に黄変する性質があり、また洗ってもとれにくくなります。

また、多くの清涼飲料水や酒類には、色々な種類のアミノ酸が含まれており、皮を剥いたリンゴの実が茶色になるように、時間がたつと徐々に化学変化して取れにくくなります。

クリーニングは、必ずしまう前に済ませておいて、清潔な状態で保管してください。

